

科目名	品質管理特講							年度	2026
英語科目名	Quality control							学期	前期
学科・学年	応用生物学科 2年次	必/選	選	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	森内 寛	教員の実務経験		無	実務経験の職種				

【科目の目的】

日本規格協会主催品質管理検定4級及び3級ダブル合格を目標とし、応用生物学科における各実験実習で実際に活用することで実践できるスキルとしても身につける事を目標とする。

【科目の概要】

日本規格協会主催品質管理検定4級及び3級ダブル合格を目標とし、応用生物学科における各実験実習で実際に活用することで実践できるスキルとしても身につける事を目標とする。

【到達目標】

- A. 授業にはすべて出席する必要がある。体調管理を万全に整え、遅刻欠席のないように務めることができる。
- B. 統計的方法の基礎を理解し、管理図や工程能力指数、相関分析などの手法を活用できる。
- C. QC七つ道具の特徴を理解し、実際に活用できる。
- D. 新QC七つ道具について説明できる。
- E. QC的ものの見方・考え方や管理・改善活動について説明できる。

【授業の注意点】

財団法人日本規格協会主催の品質管理検定4級及び3級を実際に受験する（別途、受験料が必要）。また、品質管理の考え方は社会人としての基礎素養として重要とされるので試験合格だけに集中することなく、内容を理解して、しっかりと身につけること。さらに、資格試験とは別に学科での試験も行うが、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	本科目の授業に無遅刻・無欠席である	本科目の授業に1回だけ遅刻した	本科目の授業に2回以上遅刻または1日欠席した	本科目の授業に3回以上遅刻または2日欠席した	本科目の授業に3日以上欠席した（出席時数の4分の3以上出席していない）
到達目標 B	管理図や工程能力指数、相関分析などの手法を実際に活用できる	管理図や工程能力指数、相関分析などの計算ができる	管理図や工程能力指数、相関分析を理解できる	統計的方法の基礎を理解できる	統計的方法の基礎を理解できない
到達目標 C	QC七つ道具を実際に活用できる	特性要因図やヒストグラム、パレート図を作成できる	それぞれのQC七つ道具の特徴を説明できる	それぞれのQC七つ道具を知っている	それぞれのQC七つ道具を知らない
到達目標 D	それぞれの新QC七つ道具の特徴を理解して作成できる	それぞれの新QC七つ道具の特徴を説明できる	それぞれの新QC七つ道具の特徴を理解している	新QC七つ道具を知っている	新QC七つ道具を知らない
到達目標 E	QC的ものの見方・考え方や管理・改善活動について説明できる	QC的ものの見方・考え方や管理・改善活動を理解している	品質管理の基本的な考え方を説明できる	品質管理の基本的な考え方ができる	品質管理の基本的な考え方を知らない

【教科書】

「QC検定3級 一発合格! 最強テキスト&問題集」 グローバルテクノ

【参考資料】

必要に応じてプリント教材を配布する。

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		品質管理特講			年度	2026
英語表記		Quality control			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	統計的手法	統計的なデータの取り扱いを学ぶ	1 統計計算	計算機を使用してデータの統計的な処理を理解する	1	
2			2 管理図	管理図について理解し、実際の計算ができる	1	
3	統計的手法	統計的なデータの取り扱いを学ぶ	1 工程能力指数	工程能力指数について理解し、データから計算ができる	1	
4			2 相関係数	相関係数について理解し、計算ができる	1	
5	新旧七つ道具	QC七つ道具および新QC七つ道具について学ぶ	1 QC七つ道具	それぞれのQC七つ道具について特徴を把握し、作図等ができる	1	
6			2 新QC七つ道具	新QC七つ道具について、それぞれの特徴を理解する	1	
7	品質管理検定4級対策①	資格取得の為の勉強	1 過去問	過去問を使って対策ができる	1	
8			2 採点と解説	自身の苦手な箇所を把握できる	1	
9	品質管理検定4級対策②	資格取得の為の勉強	1 過去問	過去問を使って対策ができる	1	
10			2 採点と解説	自身の苦手な箇所を把握できる	1	
11	品質管理検定4級対策③	資格取得の為の勉強	1 過去問	過去問を使って対策ができる	1	
12			2 採点と解説	自身の苦手な箇所を把握できる	1	
13	品質管理検定4級対策④	資格取得の為の勉強	1 過去問	過去問を使って対策ができる	1	
14			2 採点と解説	自身の苦手な箇所を把握できる	1	
15	まとめ	第1回から14回までの内容を総復習する。	1 第1回から14回までの内容を総復習する。	第1回から14回までの内容を理解している。	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等